

令和4年2月18日

新型コロナウイルスオミクロン株感染爆発の状況下、住民の皆様へ

いわき医師会会長 木村守和

1 高齢者の感染が増えて、医療機関に大きな影響が出ています

オミクロン株は感染力高く、学校・児童施設で感染が広がり、家庭で感染が広がり、親の職場等に広がりました。高齢者・基礎疾患のある方は重症化しやすいので、注意が必要です。ワクチン接種後も感染はあります。

保育所・幼稚園および高齢者施設では、やむを得ない状況もあり、理解が必要です。

保育所・幼稚園では、年齢的にマスクができない子どもがいます。合同保育、お迎えの時間等、様々な年齢の子どもが一緒になってしまう場面が多くなります。

高齢者施設（「特に入所施設」）では、認知症の高齢者がマスク装着できず、大声を出し、動き回ってしまうことがしばしばあります。また、在宅の介護保険利用者が様々なサービスを併用することにより、ひとたび感染者が発生すると様々な高齢者施設等に感染が波及しやすい状況です。

陽性者の療養先は2月17日のデータで、入院96名、宿泊療養68名、自宅466名となっています。小児の場合および家族ほとんどが感染している場合などのため、自宅療養となっている方が多くなっています。

クラスターが起きやすい集団として学校、児童施設、高齢者施設等があります。これらの場面では、感染を広げないための対策および感染の早期探知と感染拡大防止への対応が必要です。

2 これ以上の感染拡大は、避けなければいけません

- ① いわきの医療体制は厳しく、連携・協力していますが限界が近づいています
- ② 高齢者の感染が広がると、医療機関の負担が大きくなります
- ③ コロナ対応に追われると、通常の医療（救急・手術等）が行えなくなります

3 具体的には、以下の点に注意しましょう

- ① すべての人が、不要に他人と接触する機会を減らす必要があります
- ② 年度替わりまで、できるだけ市外・県外との人の行き来を減らす必要があります
- ③ いつも一緒にない人との会食は行わないようにする必要があります
- ④ 会話する時は、不織布マスクをして、1m距離を取り、15分以内にしましょう
- ⑤ 発熱等の症状で医療機関を受診する時は、必ず電話して受診しましょう

最後に言いたいことは、自分や家族・友人の健康を守るため、いわきの医療を守るために、住民すべてが「感染しない、感染させない、感染を広げない」ために、「危機感を共有して行動していく必要がある」ということです。

いわきの住民の皆様の力を結集し、この難しい局面を乗り切って参りましょう。